



## 2024年10月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年12月12日

上場会社名 株式会社トップカルチャー 上場取引所 東  
コード番号 7640 URL <https://www.topculture.co.jp>  
代表者(役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 清水 大輔  
問合せ先責任者(役職名) 取締役財務部長兼管理部長 (氏名) 遠海 武則 TEL 025-232-0008  
定時株主総会開催予定日 2025年1月16日 配当支払開始予定日 —  
有価証券報告書提出予定日 2025年1月30日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年10月期の連結業績(2023年11月1日~2024年10月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期	18,414	△2.8	△501	—	△577	—	△717	—
2023年10月期	18,953	△9.3	△802	—	△888	—	△1,376	—

(注) 包括利益 2024年10月期 △719百万円(—%) 2023年10月期 △1,363百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年10月期	△45.97	—	△35.4	△3.5	△2.7
2023年10月期	△110.98	—	△47.2	△5.0	△4.2

(参考) 持分法投資損益 2024年10月期 ー百万円 2023年10月期 ー百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年10月期	15,780	1,617	10.0	△36.98
2023年10月期	17,236	2,510	14.3	19.79

(参考) 自己資本 2024年10月期 1,585百万円 2023年10月期 2,471百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年10月期	795	117	△1,495	978
2023年10月期	△204	102	89	1,560

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年10月期	—	3.00	—	3.00	6.00	83	—	3.2
2024年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0	—	—
2025年10月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00		—	

(注) 1. 上記配当の状況は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と管理関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の種類株式の配当の状況をご参照ください。

2. 2024年10月期期末配当につきましては、本日公表いたしました剰余金の配当に関するお知らせに記載のとおり、期末配当を無配とさせていただきます。

3. 2025年10月期(予想)配当金につきましては、無配とさせていただきます。

3. 2025年10月期の連結業績予想（2024年11月1日～2025年10月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,876	0.6	113	—	72	—	△57	—	△3.71
通期	18,209	△1.1	127	—	43	18.9	△140	—	△8.98

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年10月期	16,214,400株	2023年10月期	16,214,400株
② 期末自己株式数	2024年10月期	603,480株	2023年10月期	603,480株
③ 期中平均株式数	2024年10月期	15,610,920株	2023年10月期	12,403,345株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年10月期の個別業績(2023年11月1日～2024年10月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期	16,707	△7.0	△609	—	△610	—	△738	—
2023年10月期	17,965	△12.2	△886	—	△902	—	△1,383	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年10月期	△47.34	—
2023年10月期	△111.58	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年10月期	15,416	1,553	10.0	△39.58
2023年10月期	16,884	2,463	14.5	18.73

(参考) 自己資本 2024年10月期 1,545百万円 2023年10月期 2,455百万円

2. 2025年10月期の個別業績予想（2024年11月1日～2025年10月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,916	△0.4	2	—	△115	—	△7.39
通期	16,245	△2.8	△114	—	△270	—	△17.34

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信（添付資料）7ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご参照ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

(A種優先株式)

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年10月期	—	4,000.00	—	4,000.00	8,000.00
2024年10月期	—	4,000.00	—	4,021.92	8,021.92
2025年10月期 (予想)	—	3,967.12	—	4,032.88	8,000.00

(B種優先株式)

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年10月期	—	500.00	—	500.00	1,000.00
2024年10月期	—	500.00	—	502.74	1,002.74
2025年10月期 (予想)	—	495.89	—	504.11	1,000.00

(注) 1株当たり配当金は、円単位未満小数第3位まで計算しその小数第3位を四捨五入して表示しております。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	5
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	5
(4) 今後の見通し .....	6
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	6
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	7
(1) 連結貸借対照表 .....	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	9
連結損益計算書 .....	9
連結包括利益計算書 .....	10
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(会計方針の変更) .....	14
(セグメント情報等) .....	15
(1株当たり情報) .....	19
(重要な後発事象) .....	20

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

## ①当連結会計年度の業績概況

連結 (単位：百万円)

	2023年10月期	2024年10月期
売上高	18,953	18,414
営業損失(△)	△802	△501
経常損失(△)	△888	△577
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△1,376	△717

単体 (単位：百万円)

	2023年10月期	2024年10月期
売上高	17,965	16,707
営業損失(△)	△886	△609
経常損失(△)	△902	△610
当期純損失(△)	△1,383	△738

当連結会計年度の店舗状況

出店	5店(蔦屋書店事業 1 ゲーム・トレーディングカード事業 3 飲食事業 1)
閉店	6店(蔦屋書店事業 5 飲食事業 1)
店舗譲渡	1店(蔦屋書店事業 1)
期末店舗数	104店(蔦屋書店事業 53 ゲーム・トレーディングカード事業 29 飲食事業 22) 都県別内訳 新潟42、長野19、神奈川4、東京4、群馬7、埼玉14、茨城6、 宮城6、岩手2

第40期におけるわが国の消費環境は、中国経済の先行き懸念や金融引き締めに伴う海外景気の下振れにより、依然として国内外における経済の先行きは不透明な状態が続いています。また、円安の進行や原材料価格、エネルギーコストの上昇に伴う生活必需品の値上げも相次いでおり、消費者の節約志向が一層強まっています。一方、当社を取り巻く環境においては、今年3月に経済産業省主導で立ち上げられた書店振興のためのプロジェクトも、書店経営者と意見交換するなど官民連携の取組みが本格化してまいりました。

そのような中、新中期経営計画(2024年10月期～2026年10月期)の初年度となる第40期は、読書文化を継承していくための“持続可能な書店創り”の方針のもと、計画を遂行すべく、様々な取り組みを実施してまいりました。

昨年10月に新たな出版取次のパートナーとなりました株式会社トーハンとの連携も1年が経過、書籍の品揃えの充実を図ると共に、NFTデジタル特典付き出版物の販売も開始し、オリジナル企画を不断に展開してまいりました。一方、オンラインでの販売強化にも取り組み、2023年12月にはEC1号店をリニューアルオープン、その後も順次新規に開業し、1年間で合計4店舗のECショップをオープンするなど、リアル店舗と両輪での販売も強化してまいりました。そのEC店舗では、トーハンの倉庫在庫と連携していることに加え、当社50店舗以上にある在庫とも連携することにより、圧倒的な品揃えで販売できる仕組みを構築したことで、販売を拡大してまいりました。

その他、物流に関してもトーハンの物流倉庫と連携し、物販と書籍と同時配送する新たな仕組みも構築し、コスト抑制と店舗運営の効率化を図ってまいりました。

さらに、複合書店の強みを活かし書籍×○○の掛け合わせにチャレンジ、新規事業や商品、サービスによりお客様に感動体験や自己発見を提供することで、蔦屋書店事業とのシナジー効果を最大化するべく取り組んでまいりました。新規事業においては、前期より展開を開始したDAISOやガシャポンバンダイオフィシャルショップのほか、コスメのECサイトを運営する企業と提携した、初のリアルコスメショップ「NO IN beauty」を4店舗オープンするなど、年齢や性別を問わず需要が拡大している分野の拡大により、幅広い年齢層の来店機会を創出することができました。また、新規ファッションアイテムや高級食品ブランド、全国から取り寄せた有名菓子、全国観光地の物産展、人気通販ショップのPOP UPショップを展開拡大した他、イベントも多数開催し“体験”できる店舗創りに取り組みまし

た。

また、2024年3月には、「イオンタウン仙台泉大沢店」を新規オープン、順調な推移により、売上高創出に寄与しております。

グループ子会社でありますスポーツ関連事業、訪問看護事業、飲食事業につきましては、それぞれの売上は前年を上回り、連結売上高にも寄与いたしました。特に2023年6月にグループ化しました株式会社メソッドカイザーが運営するタリーズコーヒーは、売上高が前年を大きく上回る推移を続けており、連結売上高への増加要素に大きく寄与しております。

今後、グループ企業間における会員連携により、新しい顧客体験やサービスを提供するための、自社会員IDの構築を準備しております。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、連結売上高184億14百万円（前年同期比97.2%）、営業損失5億1百万円（前期は営業損失8億2百万円）、経常損失5億77百万円（前期は経常損失8億88百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失7億17百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失13億76百万円）となりました。売上高は店舗の撤退が影響し前年を下回ったものの、それぞれの利益においては前年を上回る結果となりました。

また、中期経営計画をベースとして2023年12月14日に公表した業績予想値からは、売上高+6.2億円、当期純損失+1.5億円と、いずれも上振れする結果となり、中期経営計画の1年目は、概ね計画通りに進捗し、収益改善が進んだ結果となりました。

事業別の業況は次のとおりです。

なお、各セグメントの業績値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めております。

#### 【蔦屋書店事業】

同事業の売上高は16,707百万円（前年同期比93.0%）となりました。主力商品の売上高は、書籍10,584百万円（前年同比95.0%）、特撰雑貨・文具3,047百万円（前年同期比98.4%）、レンタル700百万円（前年同期比77.2%）、賃貸不動産収入522百万円（前年同期比89.8%）、販売用CD240百万円（前年同期比72.2%）、ゲーム・リサイクル230百万円（前年同期比57.2%）、販売用DVD184百万円（前年同期比63.5%）となりました。

#### 【ゲーム・トレーディングカード事業】

同事業の当連結会計年度の業績は、売上高384百万円（前年同期比112.3%）となりました。

#### 【スポーツ関連事業】

同事業の当連結会計年度の業績は、売上高253百万円（前年同期比105.9%）となりました。

#### 【訪問看護事業】

同事業の当連結会計年度の業績は、売上高180百万円（前年同期比147.4%）となりました。

#### 【飲食事業】

同事業の当連結会計年度の業績は、売上高1,145百万円（前年同期比268.6%）となりました。

## ②販売状況

当連結会計年度における販売等の状況は次のとおりです。

## 1. 商品別売上状況

区 分		前連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)		当連結会計年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)		前年比
		売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	
蔦屋書店事業	書籍	11,141,389	58.4	10,584,464	56.7	95.0
	特撰雑貨・文具	3,096,241	16.2	3,047,805	16.3	98.4
	レンタル	907,162	4.8	700,387	3.8	77.2
	賃貸不動産収入	581,720	3.0	522,437	2.8	89.8
	販売用CD	333,448	1.7	240,895	1.3	72.2
	ゲーム・リサイクル	403,370	2.1	230,834	1.2	57.2
	販売用DVD	290,671	1.5	184,610	1.0	63.5
	その他	1,105,796	5.8	975,762	5.2	88.2
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	105,856	0.6	219,905	1.2	208.0
	計	17,965,656	94.1	16,707,102	89.5	93.0
ゲーム・ トレーディング カード事業	外部顧客に対する売上高	342,533	1.8	384,667	2.1	112.3
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
	計	342,533	1.8	384,667	2.1	112.3
スポーツ関連 事業	外部顧客に対する売上高	202,668	1.1	216,833	1.1	107.0
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	36,218	0.2	36,218	0.2	100.0
	計	238,886	1.3	253,051	1.3	105.9
訪問看護事業	外部顧客に対する売上高	122,286	0.6	180,299	1.0	147.4
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
	計	122,286	0.6	180,299	1.0	147.4
飲食事業	外部顧客に対する売上高	426,244	2.2	1,145,029	6.1	268.6
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
	計	426,244	2.2	1,145,029	6.1	268.6
合計		19,095,608	100.0	18,670,151	100.0	97.8

(注) 1、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

2、蔦屋書店事業の「その他」は、図書カード他であります。



## (2) 当期の財政状態の概況

(連結財政状態)

(単位：百万円)

	2023年10月期	2024年10月期	増減
総資産	17,236	15,780	△1,456
純資産	2,510	1,617	△892
自己資本比率	14.3%	10.0%	△4.3%
1株当たり純資産	19円79銭	△36円98銭	△56円77銭

## 連結財政状態

総資産につきましては、前年度比1,456百万円減少し、15,780百万円となりました。これは主に、以下の増減によるものです。

増加：売掛金52百万円

減少：現金及び預金581百万円、商品348百万円、建物及び構築物157百万円、リース資産57百万円、投資有価証券36百万円、敷金及び保証金183百万円

負債につきましては、前年度比564万円減少し、14,162百万円となりました。これは主に以下の増減によるものです。

増加：買掛金542百万円

減少：預り金330百万円、1年内返済予定の長期借入金56百万円、長期借入金587百万円、リース債務191百万円

純資産につきましては、前年度比892百万円減少し、1,617百万円となりました。これは主に以下の増減によるものです。

増加：資本剰余金2,069百万円

減少：資本金2,242百万円、利益剰余金717百万円

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(連結キャッシュ・フロー)

(単位：百万円)

	2023年10月期	2024年10月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	△204	795	1,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	102	117	15
財務活動によるキャッシュ・フロー	89	△1,495	△1,584
現金及び現金同等物の増減額	△12	△581	△568
現金及び現金同等物の期末残高	1,560	978	△581

## 連結キャッシュ・フローの状態

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は、前連結会計年度末に比べ581百万円減少し、978百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、前年度比1,000百万円増加し、795百万円の獲得となりました。これは主に、営業損失が664百万円減少した一方、仕入債務の増減額が、520百万円増加したことによります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、前年度比15百万円増加し、117百万円の獲得となりました。これは主に、連結子会社株式の取得による支出が119百万円、投資有価証券売却による収入が69百万円、それぞれ減少した一方、有形固定資産の取得による支出が28百万円増加したことによるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、前年度比1,584百万円減少し、1,495百万円の支出となりました。これは主に、株式の発行による収入が649百万円、長期借入による収入が300百万円、それぞれ減少したことによるものです。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年10月期	2021年10月期	2022年10月期	2023年10月期	2024年10月期
自己資本比率	17.9	20.6	18.5	14.3	10.0
時価ベースの自己資本比率	22.1	21.7	13.6	15.6	14.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	3.3	△4.3	51.8	△52.0	12.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ	28.9	△24.1	2.1	1.9	△7.0

(注)1. 各指標の算出基準は以下のとおりです。

自己資本比率	$(\text{自己資本}) \div (\text{総資産})$
時価ベースの自己資本比率	$(\text{株式時価総額}) \div (\text{総資産})$
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	$(\text{有利子負債}) \div (\text{キャッシュ・フロー})$
インタレスト・カバレッジ・レシオ	$(\text{営業キャッシュ・フロー}) \div (\text{利払い})$

- 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
- 株式時価総額は、(期末株価終値) × (期末発行済株式総数(自己株式控除後))により計算しております。
- 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を払っている全ての負債を対象にしております。
- キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを用いております。
- 利払いは連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を用いております。

## (4) 今後の見通し

次期につきましても、引き続き中期経営計画2年目として、読書文化を継承していくことを目的とした“持続可能な書店創り”の方針のもと、書籍を中心とした業態連携や新規商品導入へのチャレンジを加速させ、本から繋がる／本へと繋がる売場創りを強化、新規の来店や再来店に繋がるイベントも多数開催してまいります。

またECにおいても、更なる売上と出店の拡大を図ることにより、読書文化を広める基盤を創っていくと同時に、薦屋書店事業とグループ子会社4社との連携強化による、相乗効果最大化を図ることにより、グループの黒字化を目指してまいります。

2024年3月に経済産業省主導で立ち上げられた「書店振興のためのプロジェクト」が始動したことにより、当社の書店業界における役割がより明確となった中で、文化商材である”本”というものをお客様に届け続け、読書という”人”にとってかけがえのない文化を承継していくこと、ひいては書店業界を変革し、永続するための儲かる書店創り、及び業界の事業承継問題に真剣に取り組むことを使命とし、町から書店を守ることで、中長期的な企業価値向上のため計画を実行してまいります。

以上により、次期の連結業績見通しにつきましては、売上高18,209百万円(前年比98.9%)、営業利益127百万円(前年同期営業損失501百万円)、経常利益43百万円(前年同期経常損失577百万円)、親会社株主に帰属する当期純損失140百万円(前年同期親会社株主に帰属する当期純損失717百万円)を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的な事業展開や資金調達を行っていないため、連結財務諸表の作成にあたり、日本基準を採用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当連結会計年度 (2024年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,570,708	988,928
売掛金	351,448	404,344
商品	7,268,167	6,920,010
前払費用	255,104	233,728
未収入金	162,092	190,612
その他	109,514	11,577
貸倒引当金	△404	△404
流動資産合計	9,716,632	8,748,797
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,034,746	4,718,666
減価償却累計額	△3,723,001	△3,564,208
建物及び構築物(純額)	1,311,744	1,154,457
車両運搬具	26,988	17,019
減価償却累計額	△20,368	△14,006
車両運搬具(純額)	6,619	3,013
工具、器具及び備品	773,712	730,191
減価償却累計額	△719,050	△668,460
工具、器具及び備品(純額)	54,661	61,730
土地	1,423,310	1,415,040
リース資産	5,155,536	5,333,353
減価償却累計額	△3,156,580	△3,391,456
リース資産(純額)	1,998,956	1,941,896
有形固定資産合計	4,795,292	4,576,138
無形固定資産		
のれん	139,385	118,213
ソフトウェア	4,488	3,328
電話加入権	12,995	12,995
無形リース資産	370	—
無形固定資産合計	157,239	134,537
投資その他の資産		
投資有価証券	68,354	32,254
敷金及び保証金	2,322,112	2,138,293
長期前払費用	128,993	91,499
その他	48,210	58,840
投資その他の資産合計	2,567,670	2,320,887
固定資産合計	7,520,202	7,031,563
資産合計	17,236,835	15,780,360

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当連結会計年度 (2024年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,688,332	3,230,455
短期借入金	4,500,000	4,500,000
1年内返済予定の長期借入金	644,676	587,887
リース債務	335,237	355,547
未払法人税等	49,390	38,643
賞与引当金	30,000	28,000
未払金	280,186	304,114
資産除去債務	5,481	3,127
株主優待引当金	—	7,500
その他	573,324	278,847
流動負債合計	9,106,629	9,334,123
固定負債		
長期借入金	2,195,680	1,607,793
リース債務	2,920,864	2,708,864
資産除去債務	180,185	181,437
長期前受収益	1,277	158
退職給付に係る負債	33,042	29,464
役員退職慰労引当金	62,941	62,941
長期末払金	11,689	21,267
長期預り敷金保証金	214,291	216,542
固定負債合計	5,619,972	4,828,468
負債合計	14,726,601	14,162,591
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,342,378	100,000
資本剰余金	2,045,929	4,115,474
利益剰余金	△1,643,970	△2,361,594
自己株式	△270,027	△270,027
株主資本合計	2,474,308	1,583,851
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,435	1,902
その他の包括利益累計額合計	△2,435	1,902
新株予約権	8,249	8,249
非支配株主持分	30,110	23,765
純資産合計	2,510,233	1,617,769
負債純資産合計	17,236,835	15,780,360

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)	当連結会計年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)
売上高	18,953,534	18,414,028
売上原価	12,948,824	12,092,895
売上総利益	6,004,709	6,321,132
販売費及び一般管理費	6,806,969	6,823,090
営業損失(△)	△802,260	△501,957
営業外収益		
受取利息	9,105	8,709
協賛金収入	12,889	12,676
助成金収入	4,320	3,014
スクラップ売却益	5,037	—
雑収入	13,143	13,222
営業外収益合計	44,496	37,622
営業外費用		
支払利息	110,528	112,535
新株発行費	20,474	—
雑損失	—	373
営業外費用合計	131,003	112,908
経常損失(△)	△888,767	△577,243
特別利益		
固定資産売却益	6,267	4,166
特別利益合計	6,267	4,166
特別損失		
減損損失	430,797	94,430
投資有価証券評価損	—	10,500
固定資産処分損	33,588	—
リース解約損	2,037	6,119
特別損失合計	466,423	111,050
税金等調整前当期純損失(△)	△1,348,923	△684,127
法人税、住民税及び事業税	27,091	39,841
法人税等合計	27,091	39,841
当期純損失(△)	△1,376,014	△723,969
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	490	△6,345
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△1,376,505	△717,624

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)	当連結会計年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)
当期純損失(△)	△1,376,014	△723,969
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,787	4,338
その他の包括利益合計	12,787	4,338
包括利益	△1,363,227	△719,631
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△1,363,717	△713,285
非支配株主に係る包括利益	490	△6,345

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,007,370	1,909,428	△267,465	△270,027	3,379,305
当期変動額					
新株の発行	335,008	335,008	—	—	670,016
剰余金(その他資本剰余金)の配当	—	△198,507	—	—	△198,507
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	—	—	△1,376,505	—	△1,376,505
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	335,008	136,500	△1,376,505	—	△904,996
当期末残高	2,342,378	2,045,929	△1,643,970	△270,027	2,474,308

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△15,223	△15,223	8,249	29,620	3,401,951
当期変動額					
新株の発行	—	—	—	—	670,016
剰余金(その他資本剰余金)の配当	—	—	—	—	△198,507
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	—	—	—	—	△1,376,505
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	12,787	12,787	—	490	13,278
当期変動額合計	12,787	12,787	—	490	△891,718
当期末残高	△2,435	△2,435	8,249	30,110	2,510,233

当連結会計年度(自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,342,378	2,045,929	△1,643,970	△270,027	2,474,308
当期変動額					
減資	△2,242,378	2,242,378	—	—	—
剰余金(その他資本剰余金)の配当	—	△172,832	—	—	△172,832
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	—	—	△717,624	—	△717,624
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	△2,242,378	2,069,545	△717,624	—	△890,456
当期末残高	100,000	4,115,474	△2,361,594	△270,027	1,583,851

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△2,435	△2,435	8,249	30,110	2,510,233
当期変動額					
減資	—	—	—	—	—
剰余金(その他資本剰余金)の配当	—	—	—	—	△172,832
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	—	—	—	—	△717,624
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	4,338	4,338	—	△6,345	△2,006
当期変動額合計	4,338	4,338	—	△6,345	△892,463
当期末残高	1,902	1,902	8,249	23,765	1,617,769



## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)	当連結会計年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純損失(△)	△1,348,923	△684,127
減価償却費	483,986	417,176
減損損失	430,797	94,430
のれん償却額	8,821	21,172
固定資産処分損益(△は益)	33,588	—
固定資産売却損益(△は益)	△6,267	△4,166
リース解約損	2,037	6,119
投資有価証券評価損益(△は益)	—	10,500
賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,000	△2,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△8,708	△3,578
受取利息及び受取配当金	△9,181	△8,788
支払利息	110,528	112,535
売上債権の増減額(△は増加)	74,534	△52,895
棚卸資産の増減額(△は増加)	49,458	348,157
仕入債務の増減額(△は減少)	19,906	540,081
未払消費税等の増減額(△は減少)	35,593	51,598
長期前払費用の増減額(△は増加)	19,881	2,247
その他	44,941	90,461
小計	△65,004	938,926
利息及び配当金の受取額	423	444
利息の支払額	△109,603	△112,905
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△30,081	△30,599
営業活動によるキャッシュ・フロー	△204,266	795,864
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△35,333	△63,626
有形固定資産の売却による収入	10,368	7,100
無形固定資産の取得による支出	△2,000	△700
投資有価証券の取得による支出	△30,587	—
投資有価証券の売却による収入	100,149	30,277
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△119,777	—
敷金及び保証金の回収による収入	235,460	175,712
敷金及び保証金の差入による支出	△6,733	△25,574
資産除去債務の履行による支出	△52,354	△7,840
その他	3,069	2,569
投資活動によるキャッシュ・フロー	102,261	117,916
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	100,000	—
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△707,938	△644,676
株式の発行による収入	649,541	—
リース債務の返済による支出	△381,626	△348,128
割賦債務の返済による支出	△2,487	—
配当金の支払額	△198,384	△172,757
その他	330,000	△330,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	89,104	△1,495,561
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△12,899	△581,779
現金及び現金同等物の期首残高	1,573,608	1,560,708
現金及び現金同等物の期末残高	1,560,708	978,928

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 1 報告セグメントの概要

### (1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は主に、商品・サービス別の事業会社を置き、各事業会社は、取扱う商品・サービスについて包括的な事業戦略の立案並びに事業活動を展開しております。

したがって、事業会社を基礎とした商品・サービス別の事業セグメントから構成されており、「蔦屋書店事業」「ゲーム・トレーディングカード事業」「スポーツ関連事業」「看護訪問事業」「飲食事業」の5つを報告セグメントとしております。

### (2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「蔦屋書店事業」は、書籍、CD・DVD、特撰雑貨・文具等の販売およびCD・DVD等のレンタルを取扱うチェーンストアを事業展開しております。

「ゲーム・トレーディングカード事業」は、ゲームやトレーディングカード及び中古書籍・音楽・映像ソフト等を取扱う、「古本市場トップブックス」及び「ふるいちトップブックス」を店舗展開しております。

「スポーツ関連事業」は、サッカークラブ及びサッカースクールの運営並びにスポーツ施設の企画・経営等を事業内容として展開しております。

「訪問看護事業」は精神疾患・認知症を中心とした訪問看護事業を行っております。

「飲食事業」はタリーズコーヒーのフランチャイズ運営を主な事業内容としており、当社の蔦屋書店へ店舗を展開しております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1 (注) 3	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	蔦屋書店 事業	ゲーム・ トレーディング カード事業	スポーツ 関連事業	訪問看護 事業	飲食事業			
売上高								
外部顧客に 対する売上高	17,859,800	342,533	202,668	122,286	426,244	18,953,534	—	18,953,534
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	105,856	—	36,218	—	—	142,074	△142,074	—
計	17,965,656	342,533	238,886	122,286	426,244	19,095,608	△142,074	18,953,534
セグメント利益 又は損失 (△)	△886,764	7,455	10,804	407	15,958	△852,138	49,878	△802,260
セグメント資産	16,745,538	269,327	31,166	50,179	442,430	17,538,642	△301,807	17,236,835
その他の項目								
減価償却費	462,098	19,051	263	2,074	498	483,986	—	483,986
のれんの 償却額	—	—	—	—	8,821	8,821	—	8,821
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	195,348	83,785	—	—	152,611	431,746	—	431,746

- (注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去であります。  
2 セグメント利益又は損失 (△) は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。  
3 セグメント資産の調整額は、セグメント間取引消去であります。

当連結会計年度(自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1 (注) 3	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	蔦屋書店 事業	ゲーム・ トレーディング カード事業	スポーツ 関連事業	訪問看護 事業	飲食事業			
売上高								
外部顧客に 対する売上高	16,487,197	384,667	216,833	180,299	1,145,029	18,414,028	—	18,414,028
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	219,905	—	36,218	—	—	256,123	△256,123	—
計	16,707,102	384,667	253,051	180,299	1,145,029	18,670,151	△256,123	18,414,028
セグメント利益 又は損失 (△)	△609,989	△13,106	12,281	21,346	47,648	△541,820	39,862	△501,957
セグメント資産	15,298,158	268,767	44,342	75,018	429,201	16,115,486	△335,126	15,780,360
その他の項目								
減価償却費	378,995	30,528	905	1,273	7,769	419,471	△2,294	417,176
のれんの 償却額	—	—	—	—	21,172	21,172	—	21,172
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	200,587	28,482	687	2,569	25,003	257,330	—	257,330

- (注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去であります。  
2 セグメント利益又は損失 (△) は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。  
3 セグメント資産の調整額は、セグメント間取引消去であります。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)

## 1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

## 3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)

## 1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

## 3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					全社・消去	合計
	蔦屋書店事業	ゲーム・ トレーディング カード事業	スポーツ 関連事業	訪問看護 事業	飲食事業		
減損損失	430,797	—	—	—	—	—	430,797

当連結会計年度(自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					全社・消去	合計
	蔦屋書店事業	ゲーム・ トレーディング カード事業	スポーツ 関連事業	訪問看護 事業	飲食事業		
減損損失	94,430	—	—	—	—	—	94,430

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					全社・消去	合計
	蔦屋書店事業	ゲーム・ トレーディング カード事業	スポーツ 関連事業	訪問看護 事業	飲食事業		
当期償却額	—	—	—	—	8,821	—	8,821
当期末残高	—	—	—	—	139,385	—	139,385

当連結会計年度(自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					全社・消去	合計
	蔦屋書店事業	ゲーム・ トレーディング カード事業	スポーツ 関連事業	訪問看護 事業	飲食事業		
当期償却額	—	—	—	—	21,172	—	21,172
当期末残高	—	—	—	—	118,213	—	118,213

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)	当連結会計年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)
1株当たり純資産額	19円79銭	△36円98銭
1株当たり当期純損失金額(△)	△110円98銭	△45円97銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	—	—

(注) 1 前連結会計年度及び当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当連結会計年度 (2024年10月31日)
純資産の部の合計額(千円)	2,510,233	1,617,769
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	308,872	577,245
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	2,201,360	2,195,014
差額の主な内訳(千円)		
新株予約権	8,249	8,249
非支配株主持分	30,110	23,765
優先株式の払込金額	2,100,000	2,100,000
優先配当額	63,000	63,000
普通株式の発行済株式数(株)	16,214,400	16,214,400
普通株式の自己株式数(株)	603,480	603,480
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式数(株)	15,610,920	15,610,920

3 1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)	当連結会計年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)
1株当たり当期純損失金額(△)		
親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△1,376,505	△717,624
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純損失(△)(千円)	△1,376,505	△717,624
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(株)	12,403,345	15,610,920
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。